

(様式5)

令和4年度 学校運営協議会委員評価報告書

学 校 名 湯梨浜町立東郷小学校
校 長 名 本田 弘樹

評価日 令和5年2月17日(金)

評価	自己 評価	関係者 評 価	提言・改善策等
(1) 学ぶ意欲の向上と 確かな学力の向上	B	B	<ul style="list-style-type: none">・3年間の研究で力を入れてきたのが「学級活動」での話し合い活動。計画・準備・話し合い・実践・振り返りまで児童中心に進める力をつけた。これを今後の研究に生かしていくことが大事。・ICTなしでは生活できないこれからの時代に、東郷小は家庭の持ち帰りを含めてよく活用している。一方で、ICT活用のための教材作り等の準備には時間がかかる。ICT活用も大切だが、紙媒体である辞書や資料とバランスよく活用することが大事。・家庭学習の時間の向上が課題。
(2) 支え合い高め合う 人間関係づくり	B	B	<ul style="list-style-type: none">・学校の課題を隠さずに説明がありよくわかる。・年間を通して体験学習が保障され、広島への修学旅行もでき良かった。・保護者アンケートで「学級だよりを出してもらえない」という声があるが、子どもたちの様子を知らせるのは学級だよりだけではない。HP等でも様子がよくわかる。・インクルーシブ教育の「多様性を認める考え方」が大切。多様性を認める学校をめざしてほしい。・図書館の本を借りる児童が少なくなっている。朝読書の時間に週に1回タイピング練習に充てていることも一因に思われる。
(3) 健やかな体づくり	C	B	<ul style="list-style-type: none">・SNSとの付き合い方については親も巻き込んで取り組んでいく必要がある。・コロナの影響で下学年の体力が落ちていることが懸念される。・この項目の課題は家庭・地域との連携が不可欠である。
(4) 地域に根ざし開か れた学校づくり	A	A	<ul style="list-style-type: none">・公民館との連携によって取り組めた活動があつてよかった。・地域とよく関わりを持ち、体験活動ではボランティアもよく頑張つて取り組んでいる。・ミシン・調理・野菜作り等のボランティアが充実している。衣食住のどれも大事なことである。家庭科の研究にあたり、どんどんボランティアを活用してほしい。全面的に協力したい。
総合評価	B	B	<ul style="list-style-type: none">・以上の各項目の評価を総合してB。・水道の水を自主的に止める児童や、そうじに関する項目の児童評価が良い。さらに伸ばして欲しい。